

平成 28 年度第 2 回千葉市下水道事業経営委員会議事録

1 開催日時：平成 29 年 3 月 22 日(水) 午後 3 時 15 分～午後 5 時 00 分

2 開催場所：千葉市議会棟第三委員会室

3 出席者

【委員】（五十音順）

泉登茂子委員
伊藤久恵委員
川名部芳秋委員
工藤秀明委員
佐久間水月委員
袖澤利昭委員
瀧和夫委員
西川幸一委員
野中規正委員
町田有委員

【事務局】

元吉建設局次長
鈴木下水道管理部長
出山下水道建設部長
石川下水道経営課長
古山下水道営業課長
慈道下水道維持課長
秋庭中央浄化センター所長
今井南部浄化センター所長
鎗田下水道計画課長
高梨下水道計画課担当課長
岩瀬下水道建設課長補佐
屋代下水道再整備課長
鈴木下水道施設建設課長
森下水道計画課長補佐

4 議題及び報告事項

(1) 議題

平成 29 年度下水道事業会計当初予算について

(2) 報告事項

- ①上下水道料金の徴収一元化について
- ②下水道事業中長期経営計画における収支見通しの精査について
- ③社会資本総合整備計画の事後評価について
- ④経営比較分析表の公表について

5 会議経過

(1) 議題 平成 29 年度下水道事業会計当初予算について

【説明】	資料 1 平成 29 年度下水道事業会計当初予算について
石川下水道経営課長	(「1 予算の概要」～「3 予定財務状況」を説明)
鎗田下水道計画課長	(「4 平成 29 年度予算における重点事務事業を説明」)
野中規正委員	資料 1 の 2 ページ、上下水道料金徴収事務 7 億 2,900 万円について確認します。 私の住んでいる緑区では既に徴収一元化されており、検針した月に料金が徴収されています。 千葉県水道局が開発するシステムの負担金としてこの金額が発生していると思います。資料 2 にも費用対効果について記載されていますが、この効果に対して、市の負担金の額が大きい理由は何ですか。
鈴木下水道管理部長	上下水道料金徴収事務 7 億 2,900 万円については、既に徴収事務を委託している費用も含めた総額で公共下水道区域全部の徴収事務の費用となります。 実際の徴収一元化にかかる追加費用は 1 億 7,000 万円で、徴収一元化後の来年の 1～3 月分の費用の追加を含めた金額となります。
野中規正委員	すでに私の住んでいる地区では検針月に徴収するシステムが出来上がっているわけですね。 そのシステムを千葉県水道局のシステムに変更するための費用として、今説明のあった 1 億 7,000 万円がかかるということなのですか。
鈴木下水道管理部長	市の水道局の給水区域では、平成 24 年度から徴収一元化を実施しております。 今回の増額分は、市域のうち県営水道の給水区域について、平成 30 年 1 月から千葉県水道局に徴収を委託するものです。

川名部芳秋委員	下水道事業の全体の予算規模は、何百億円ですか。
石川下水道経営課長	収益的支出 291 億 7,500 万円、資本的支出 281 億 7,900 万円、合計 573 億 5,400 万円になります。
元吉建設局次長	机上配付いたしました「平成 29 年度当初予算（案）のあらまし」も参考としてご覧ください。
川名部芳秋委員	<p>下水道事業は、市民の生活環境の改善や雨水対策といった重要なインフラ整備と私は考えています。</p> <p>市民からいただく下水道使用料として 156 億円計上されています。下水道事業というものを理解していただくためにも、市民向けにもっと P R をした方が良いのではないのでしょうか。</p> <p>9 月 10 日は下水道の日で、以前は下水道フェアをやっていて、現在は下水道教室を実施しているということなのですが、平成 29 年度で下水道教室の他に P R する方策があれば教えてください。</p>
元吉建設局次長	<p>委員がおっしゃったとおり、下水道の P R については重要なことと認識しています。</p> <p>9 月 10 日は下水道の日ということで、以前は中央公園で下水道の P R を行っていました。しかしながら、千葉市は、下水道事業を含め市全体の財政状況が厳しく、支出を抑制しなくてはいけないため、下水道フェアは中断しているところです。</p> <p>今後、財政状況が好転していけば、下水道フェアについては検討していきたいと思えます。ただ、下水道教室のように、それほど費用がかからず P R 活動ができるものは継続していきたいと考えています。</p> <p>また、マンホールカードというものがあまして、各都市でマンホールのデザインが異なることから人気がありますので、それに関しては P R のひとつとして取り組んでいきたいと考えています。</p>
出山下水道建設部長	その他の P R ですが、南部浄化センターではすでに高度処理をしておりますが、そこの再生水を利用して、概ね 7 月から 8 月の間、J R 海浜幕張駅前広場に周辺の保育園の園児を集めて、J R 東日本、J E F の協力も得て、「打ち水大作戦」と称

して、打ち水をするとこれだけ温度が下がる効果があります、地球にやさしい下水道ですといったPR活動を平成26年度から毎年実施しています。

町田有委員

防水板設置工事の助成金交付に関してですが、浸水被害に遭われた住宅やマンションなどの件数は把握していますか。

出山下水道建設
部長

市全体の防災は、総務局が総括していますが、防災の管理システムというのがあります。そのシステムによって、市全体の災害情報が一元化されるので、浸水被害が発生した場合にはどこの地区でどの程度の被害があったか等については把握しています。

元吉建設局次長

基本的には、防災部局で災害情報を把握していますが、千葉市ホームページに「防災ポータルサイト」があり、そこで台風25号などと検索していただければ、床上、床下浸水などの件数が表示されます。

町田有委員

防水板の設置希望者は、市の助成金交付制度があることをご存じなのではないでしょうか。市のホームページへの掲載など、PR活動は行っているのでしょうか。

高梨下水道計画
課担当課長

防水板設置工事助成金交付のPRについては、市政日より、市ホームページ、イオンの掲示板にPRパンフレットを掲示させていただいているほか、各区役所等にもパンフレット、リーフレットを配架しています。

今年は新しい試みとして、若い方々にも見ていただこうと、ツイッターにも掲載しています。

町田有委員

そのPR活動は効果がありましたか。

高梨下水道計画
課担当課長

ツイッターに掲載した中では、広報広聴課からの情報では、通常の広報よりは反響が多かったと聞いています。

また、浸水に遭われた地域に職員が直接出向いて、こういう助成があります、という広報も行っていますので、効果は徐々にではありますが出てきていると認識しています。

出山下水道建設
部長

助成制度は、平成 23 年度から創設された制度で、平成 23 年度は 10 件、平成 24 年度 3 件、平成 25 年度 3 件、平成 26 年度 4 件と、件数が少ないことから、市議会からはもっと積極的な P R を実施するよう指摘を受けているところです。

平成 27 年度は 2 件に落ち込んだこともあり、市政だよりへの掲載を年 1 回から 3 回に、ツイッターへの掲載、イオンの掲示板活用により、大きな効果ではないかもしれませんが、平成 28 年度は 4 件となりました。

また、浸水被害に遭われた自治会へ伺いまして、各戸にパンフレットを配付するとか、区役所、土木事務所に置くことを積極的に実施しています。しかしながら、今委員から指摘があったように、なかなか制度が浸透しないということがありますので、今後もさらに P R 活動を推進していきます。

元吉建設局次長

この助成制度は、浸水被害対応としてハード対策をすべて実施すれば必要のないものですが、ハード対策には膨大な資金と長期の期間がかかってしまい、それはどの都市でも同じです。

我々が助成制度を P R することによって、防水板を設置することはなくても、市民の方々に防災意識をもっていただく効果があるのではと考えています。

袖澤利昭委員

浸透施設の整備ですが、弁天地区を選ばれている理由は何ですか。

鎗田下水道計画
課長

土質調査等により浸透が適している区域と適さない区域を抽出し、浸透適地のなかから浸透施設が整備できる区域を更に抽出し、順次進めています。

工藤秀明副委員
長

個人あてに届く使用料のはがきが、毎年、引っ越しの際のお知らせ等の同じ趣旨の内容なのですが、個人あてで来たものであれば皆見るので、アピールしたい点があれば、P R のひとつとして利用したらどうですか。

そこを入口にして、詳細については市政だより〇〇号やホームページ等をご覧くださいというように活用できるのでは。

鈴木下水道管理
部長

事前にはがきを一括で印刷してしまうこともあります。のちほど説明しますが、今年は上下水道料金の徴収一元化を控えて

<p>元吉建設局次長</p>	<p>いますので、このはがきでご案内させていただきます。</p> <p>ご意見を参考に、次の課題として検討させていただきます。</p>
<p>(2) 報告事項 ①上下水道料金の徴収一元化について</p>	
<p>【説明】 古山下水道営業課長</p>	<p>資料2 上下水道料金の徴収一元化について (説明)</p>
<p>伊藤久恵委員</p>	<p>先ほど、ハガキのPRの話が出ていましたが、今年の9月からの郵便料金の値上げについては、コストに含まれていますか。</p>
<p>古山下水道営業課長</p>	<p>このコスト比較は、平成27年度と同様の価格で計算しておりますので含まれていません。</p>
<p>川名部芳秋委員</p>	<p>平成30年1月から実施するにあたり、平成29年5月から市民に周知すると、期間が6か月あり、いいことだと思っています。市政だよりの活用もありますが、「県水だより」という広報紙も一般家庭に新聞折り込みで配布されています。これを活用することはどうでしょうか。</p>
<p>古山下水道営業課長</p>	<p>県水だよりも3回ほど掲載していただく予定です。</p>
<p>川名部芳秋委員</p>	<p>口座振替による自動引き落としは一回になりますが、水道料金と下水道使用料の金額は分かるのですか。</p>
<p>古山下水道営業課長</p>	<p>口座振替については「県水道局」で通帳に記帳されますが、請求書には、水道料金何円、下水道使用料何円、合計何円と明記されます。</p>
<p>川名部芳秋委員</p>	<p>滞納があった場合は、千葉県水道局で対応するのですか。</p>
<p>古山下水道営業課長</p>	<p>給水停止などの措置もありますので、千葉県水道局で対応します。</p>

西川幸一委員 徴収は2か月に1回ですか。また、井戸水を使用している地域はないのでしょうか。

古山下水道営業課長 徴収は2か月に1回です。また、井戸水を使用している方も、県水エリアについては、千葉県水道局で下水道使用料のみを徴収します。

西川幸一委員 水道を使用している方は水道メーターがあるので使用量が分かれますが、井戸水の場合の使用量は、どのように測定しているのですか。

古山下水道営業課長 下水道使用料については世帯人数で計算しています。ただし、事業者については大量に水を使用することから、市でメーターを設置しており、実際の水量を計っています。こちらも千葉県水道局で対応します。

野中規正委員 すでに上下水道料金徴収一元化を実施しているところは、そのままのシステムで運用し、県水道局のエリアは県のシステムで運用するという事は、千葉市に二つのシステムが存在するという事ですね。なぜ、システムを共通にできないのですか。

鈴木下水道管理部長 千葉市の上水道は、市営水道と県営水道に分かれていて、今回の県営水道エリアについて、千葉県水道局にお願いすることになるので、システムの統一化はできません。今後、県と市の上水道事業が統合することがあれば、統一化できる可能性はあります。

(2) 報告事項 ②下水道事業中長期経営計画における収支見通しの精査について

【説明】 資料3 下水道事業中長期経営計画における収支見通しの精査について

石川下水道経営課長 (説明)

元吉建設局次長 こちらに関しましては、来年度に議論していくこととなりますのでよろしくお願ひいたします。

瀧和夫委員長

では、今後のスケジュールということで、委員の皆さんもご承知おきくださるよう、お願いします。

(2) 報告事項 ③社会資本総合整備計画の事後評価について

【説明】
鎗田下水道計画
課長

資料4 社会資本総合整備計画の事後評価について
(説明)

瀧和夫委員長

この案件については、経営委員会でこの評価を承認するのでしょうか。あるいは、意見を述べるだけでよろしいですか。

鎗田下水道計画
課長

報告事項となりますが、評価書の記載内容や表現の仕方等について、ご意見等があれば評価書に反映したいと考えています。
なお、今後、市民意見の募集も行う予定です。

瀧和夫委員長

今後、ご意見等ありましたら、個別に事務局へお願いしたいと思えます。

(2) 報告事項 ④経営比較分析表の公表について

【説明】
石川下水道経営
課長

経営比較分析表
(説明)

(特に質疑なし)

瀧和夫委員長

委員の方々からの貴重なご意見が出ていますので、今後の事業に反映させていただきようお願いいたします。